



明日の例大祭を考える

若者会議

彌美神社の例大祭は、伝統文化の継承や世代間・地域間の交流にとって大切なものです。しかし、参加者や後継者の不足の問題が生じています。地域振興のかなめである例大祭を盛り上げてゆくためには、世代や地域を超えて話し合う必要があります。

そこで、かつて祭礼学習を熱心にとりくんだ旧弥美小学校の卒業生たちに集まってもらいます。司会は、長年彌美神社の祭礼と芸能を調査してきた橋本裕之先生（追手門学院大学教授）が務めます。みんなで「明日の例大祭」、「明日の美浜町」について話し合しましょう！

日時

11月29日 日

13:30 ~ 15:30 (13時開場)

対象

明日の例大祭に関わる地域住民
伝統文化の継承や地域振興などに関心のある県民

会場

なびあす (美浜町生涯学習センター)
コミュニティルーム (100人)



主催：明日の例大祭を考える会議、福井県里山里海湖研究所
後援：美浜町、美浜町教育委員会、福井県教育委員会
お問い合わせ：☎ 0770-45-3580 FAX 0770-45-3680 (里山里海湖研究所・中村)

明日の例大祭を考える

11/29 (日)
13:30-15:30

若者会議

福井県里山里海湖研究所では、里山里海湖文化プロジェクトの一環として、伝統文化の継承や地域振興に関わる「祭礼文化」について調査しています。

毎年5月1日に開催される彌美神社の例大祭は、地域振興や世代間・地域間交流、伝統文化の継承にとって重要なものです。しかし、日本各地の例にもれず、美浜町においても、生活スタイルの変化や若者層の都市部への流出、地域人口の減少などによって、例大祭の参加者や後継者の不足の問題が生じています。地域振興のかなめである例大祭を盛り上げてゆくためには、世代を超えて地域ぐるみで話し合う必要があります。とくに、例大祭の将来を担う「若者」の意見は重要です。

若者を主人公として「明日の例大祭を考える若者会議」を企画しました。かつて弥美小学校(現美浜中央小学校)で行われていた「祭礼学習」を受けた卒業生に集まっていただき、当時を振り返りながら、若者が考える「明日の例大祭」について、「しゃべり場」風に自由な意見交換の場にしたいと考えています。

司会は、祭礼学習のゲスト講師を務めていた橋本裕之先生(追手門学院大学・教授、里山里海湖研究所・文化研究プロジェクトメンバー)です。若者の意見を会場に集まった地域の方々と交換することで、明日の例大祭について考えるとともに、例大祭を軸とした美浜町の地域づくりの可能性をさぐりたいと考えています。例大祭の明日に関わる地域の方々や、伝統文化継承や地域振興に関心のある皆様のご参加をお待ちしています。

参加募集
申込み不要



なびあすへの交通

車：舞鶴若狭自動車道若狭美浜 IC より小浜方面へ約 10 分。もしくは、若狭三方 IC より敦賀方面へ約 10 分。
電車：JR 小浜線「美浜駅」下車。徒歩約 10 分。

若者会議の会場

正面玄関に入って右手の「コミュニティルーム」です。

主催：明日の例大祭を考える会議、福井県里山里海湖研究所
後援：美浜町、美浜町教育委員会、福井県教育委員会

お問い合わせ (里山里海湖研究所・中村)

☎ 0770-45-3580

FAX 0770-45-3680

